

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画施策進行調書(その3)

政策目標	4	安全・安心で、人と環境にやさしい街	
重点課題	1	水とみどりの保全・育成と創出	
主 な 取 組 内 容			
施策1	みどりの保全・育成		
19年度(実績)		20年度(実績)	
<ul style="list-style-type: none"> ●特別緑地保全地区取得 約1.3ha ●都市環境林取得 約3.6ha 		<ul style="list-style-type: none"> ●特別緑地保全地区取得 約1.1ha ●都市環境林取得 約4.4ha 	
21年度(実績)		22年度(予定)	
<ul style="list-style-type: none"> ●特別緑地保全地区取得 約0.8ha ●都市環境林取得 約3.4ha 		<ul style="list-style-type: none"> ●特別緑地保全地区取得 約0.8ha ●都市環境林取得 約4.1ha 	
施策2	みどりの創出		
19年度(実績)		20年度(実績)	
<ul style="list-style-type: none"> ●道路緑化推進事業(街路樹補植1,700本、危険木対策65本など) ●一家庭一植樹運動推進事業による苗木配布 約10千本、リラの花香る街づくり事業による植樹本数 約4千本 ●さっぽろふるさとの森づくり植樹祭 毎日新聞社と共催により苗木10千本植樹 ●コミュニティガーデン設置数 1カ所 ●アマ&ホップフェスティバルの支援、フラワーロードの延長3,100m ●白旗山スキーコース森林復元工事、白旗山フェスティバル ●丘珠空港緑地 パークゴルフ場18ホールの先行供用開始 		<ul style="list-style-type: none"> ●道路緑化推進事業(街路樹補植1,239本、危険木対策183本など) ●一家庭一植樹運動推進事業による苗木配布 約10千本 ●さっぽろふるさとの森づくり植樹祭 苗木4千本植樹 ●コミュニティガーデン設置数 10カ所 ●アマ&ホップフェスティバルの支援、フラワーロードの延長3,200m ●創成川通緑地空間等実施設計 ●白旗山スキーコース森林復元モニタリング調査 ●丘珠空港緑地 用地取得、施設整備 ●東雁来公園 サッカー場2面の整備 	
21年度(実績)		22年度(予定)	
<ul style="list-style-type: none"> ●道路緑化推進事業(街路樹補植1,282本、危険木対策432本など) ●一家庭一植樹運動推進事業による苗木配布 約11千本 ●さっぽろふるさとの森づくり植樹祭 4千本植樹 ●コミュニティガーデン設置数 10カ所 ●アマ&ホップフェスティバルの支援、フラワーロードの延長3,300m ●創成川護岸、創成橋復元工事、公園造成(南1条～南大通・北大通～北2条) ●白旗山スキーコース森林復元モニタリング調査 ●丘珠空港緑地 用地取得、施設整備 ●東雁来公園 外周の植栽工事など 		<ul style="list-style-type: none"> ●道路緑化推進事業(街路樹補植1,300本、危険木対策144本など) ●一家庭一植樹運動推進事業による苗木配布 約10千本 ●さっぽろふるさとの森づくり植樹祭 4千本植樹 ●コミュニティガーデン設置数 10カ所 ●アマ&ホップフェスティバルの支援、フラワーロードの延長3,500m ●創成川護岸(大通区間他)、公園造成(南4条～南1条、大通) ●丘珠空港緑地 用地取得、施設整備 ●東雁来公園 基盤整備など 	

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画施策進行調書(その4)

政策目標	4	安全・安心で、人と環境にやさしい街				
重点課題	1	水とみどりの保全・育成と創出				
主な取組内容						
施策3	水辺の保全・創出					
19年度(実績)			20年度(実績)			
<ul style="list-style-type: none"> ●協働による水生生物観察会や市民活動事例発表会の実施 ●水生生物調査ハンドブックの増刷・配布 ●豊平川雨水貯留管の基本設計 ●合流式雨水吐口へのスクリーン施設の設置 7カ所 ●雨天時の放流水質の改善に関する調査 ●雨水流出抑制の他都市事例調査 ●雨水流出抑制に関する情報提供と意向把握(下水道パネル展、下水道モニター制度) ●有識者による札幌市河川環境基本計画の検討会開催(4回) ●多自然川づくりによる散策路整備や意見交換会等の実施 			<ul style="list-style-type: none"> ●協働による水生生物観察会の実施 ●水環境保全活動の実態把握 ●豊平川雨水貯留管の実施設計 ●合流式雨水吐口へのスクリーン施設の設置 4カ所 ●雨天時の放流水質の改善に関する調査 ●新たな開発における雨水流出抑制量の設定 ●雨水流出抑制技術基準(案)策定 ●札幌市河川環境指針(名称変更)の策定 ●多自然川づくりによる散策路整備等の実施 			
21年度(実績)			22年度(予定)			
<ul style="list-style-type: none"> ●協働による水生生物観察会や活動発表会の実施支援 ●水環境保全活動の実態把握 ●豊平川雨水貯留管の工事 ●合流式雨水吐口へのスクリーン施設の設置 4カ所 ●雨水流出抑制実施要綱(案)策定 ●多自然川づくりによる河道整備、散策路整備等の実施 			<ul style="list-style-type: none"> ●協働による水生生物観察会や活動発表会の実施支援 ●水環境保全活動の実態把握 ●豊平川雨水貯留管の工事 ●合流式雨水吐口へのスクリーン施設の設置 2カ所 ●新川水再生プラザへの雨天時活性汚泥法の導入 ●手稲処理区における合流改善事業計画の策定 ●雨水流出抑制に関する要綱、技術基準の策定 ●多自然川づくりによる河道整備、散策路整備等の実施 			
施策4	水とみどりを楽しむ心の醸成					
19年度(実績)			20年度(実績)			
<ul style="list-style-type: none"> ●市民・企業等の協働による公園緑地の利活用(イベント実施等) ●森林・公園ボランティア活動の拡充・促進 ●公園緑地落葉等のリサイクルのため、堆肥ヤード設置(2カ所) ●国際園芸博覧会(花博)開催の検討について、基礎調査を実施 			<ul style="list-style-type: none"> ●市民・企業等の協働による公園緑地の利活用(イベント実施等) ●森林・公園ボランティア活動の拡充・促進 ●公園樹木落葉等のリサイクル活動の拡充・促進(堆肥ヤード設置 5カ所) ●学校に児童生徒、保護者及び地域住民の協働により植樹の実施(15校、1,240本) ●花博構想について、追加調査を実施するとともに、市民アンケート調査を実施して市民の意向を把握した。 			
21年度(実績)			22年度(予定)			
<ul style="list-style-type: none"> ●市民・企業等の協働による公園緑地の利活用(イベント実施等) ●森林・公園ボランティア活動の拡充・促進 ●公園樹木落葉等のリサイクル活動の拡充・促進(堆肥ヤード設置支援) ●学校に児童生徒、保護者及び地域住民の協働により植樹の実施(13校、400本) ●国際園芸博覧会(花博)開催の検討について、19年度に実施した基礎調査、20年度に実施した追加調査及びアンケート調査の結果を踏まえ、調査内容を分析し、実施を断念する旨の判断をした。 			<ul style="list-style-type: none"> ●市民・企業等の協働による公園緑地の利活用(イベント実施等) ●森林・公園ボランティア活動の拡充・促進 ●公園樹木落葉等のリサイクル活動の拡充・促進(堆肥ヤード設置支援) ●学校に児童生徒、保護者及び地域住民の協働により植樹の実施(10校、300本) 			
主な施設、サービスの整備水準						
施設(サービス)名	18年度末(現状)	19年度末(実績)	20年度末(実績)	21年度末(実績)	22年度末(予定)	22年度末(目標)
該当なし						

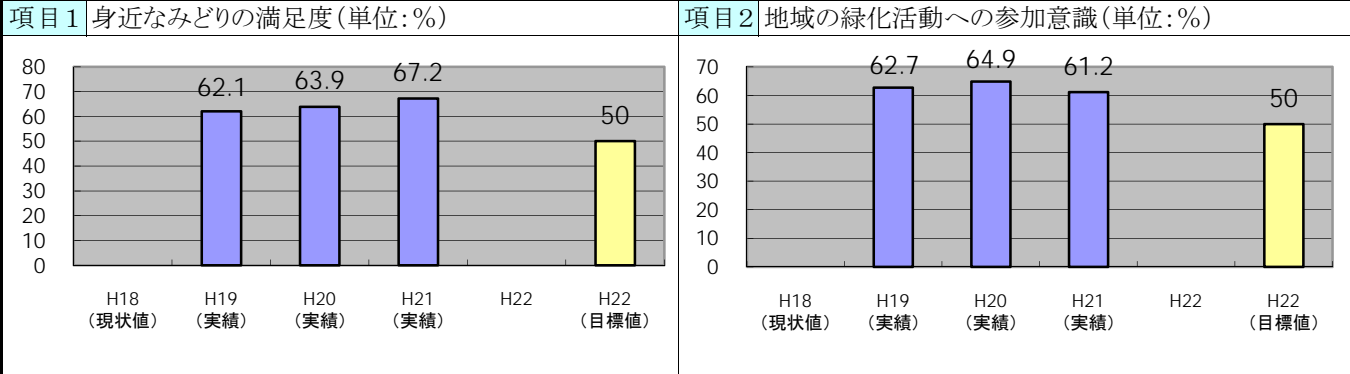
平成22年度第2次札幌新まちづくり計画施策進行調書(その5)

政策目標	4	安全・安心で、人と環境にやさしい街
重点課題	1	水とみどりの保全・育成と創出
評価(成果)		課題
施策1	みどりの保全・育成	
特別緑地保全地区や都市環境林の取得により、重要な樹林地を公有化することで、街から見える山並みや市街地に点在する緑地の保全に努め、将来にわたり良好な都市環境の形成、景観風致の維持が図られた。	豊かな自然環境を維持するための財源確保が困難になってきている。 森林環境保全を積極的に推進するため、行政が主体となって行ってきたみどりの保全・育成に係る制度や事業手法にとどまらず、NPO、市民ボランティア、企業などの多様な主体の活動にも重点を置き、その活動の支援や協働による森林保全などについて検討を行い、多様な主体によるみどりの保全・育成を図る必要がある。	
施策2	みどりの創出	
公園緑地の整備をはじめとして、市街地の街路樹の整備や、公共施設の緑化を進めたことにより、潤いのあるみどり豊かな街づくりへの取組が推進された。また、歩道美化事業やアマとホップのフラワーロードを始めとする市民と協働による花を活用した街の美化活動によって、景観の向上に寄与しただけでなく、コミュニティの醸成や、地域の個性をいかした活気ある街づくりを進め、「身近なみどりの満足度」につながった。 このほか、市民や企業との協働による森づくりを行うことで、みどりの創出に加え、市民の緑化・環境意識の高揚を図った。	地域での緑化活動や森づくり、公園緑地整備などの取組により多くの市民や企業が参加できるよう取組内容の検討や活動団体の連携を深めるなどの支援を進める必要がある。一方で、市民が植樹活動を行える場所の確保が必要となっている。 また、街路樹の老木化が進んでいることから、危険木対策に重点を置いた街路樹管理により、市街地のみどりの創出を図る必要がある。	
施策3	水辺の保全・創出	
水辺とのふれあいの取組として、水生生物観察会等の実施により、市民の水環境への関心の高まりや、市民交流の促進がみられた。 また、西野川、藤野沢川において多自然川づくりにより河道整備等を行った。 このほか、水とみどりのうるおいのある街づくりを目指し、雨水流出抑制実施要綱(案)を策定し、雨水の流出量が多い大規模施設の考え方、雨水流出抑制の対象となる行為、雨水の貯留・浸透に関する手法の整理などについて検討することができた。	水環境保全に関する市民活動団体相互の連携や情報の共有化を一層推進するため、支援する仕組みの構築が必要である。また、多自然川づくりによる河川の整備については、市民意見をより取り入れるために、河川環境への市民の関心を高める必要がある。 このほか、合流式下水道の改善については、雨水貯留管による整備は大きな効果が得られる一方で、多額の費用を要することから、より効率的な技術について調査・検討が必要である。	
施策4	水とみどりを楽しむ心の醸成	
市民との連携によるイベントを実施することで、市民が主体となった公園緑地の利活用が促進されたほか、森林ボランティア制度の見直しによって、より多くの市民参加が可能となった。 また、学校において、地域や保護者と連携して植樹活動を行い、自然教育・環境教育が推進された。 このほか、国際園芸博覧会(花博)開催に係る各調査、市民アンケートから実施を断念する旨の判断をした。	市民・企業と連携・協働による公園緑地の利活用を促進するには、市民・企業のニーズの把握などを図る必要がある。学校での植樹活動については、新たな植樹スペースの確保が必要である。	
今後の重点取組		
今後も市民・企業との連携・協働による公園緑地の整備、地域緑化の推進や森づくりのほか、公園緑地の利活用の促進に取り組んでいくものであるが、より多くの参加を得ながら進めていくために、取組内容や市民・企業への支援等の充実を図っていく。		

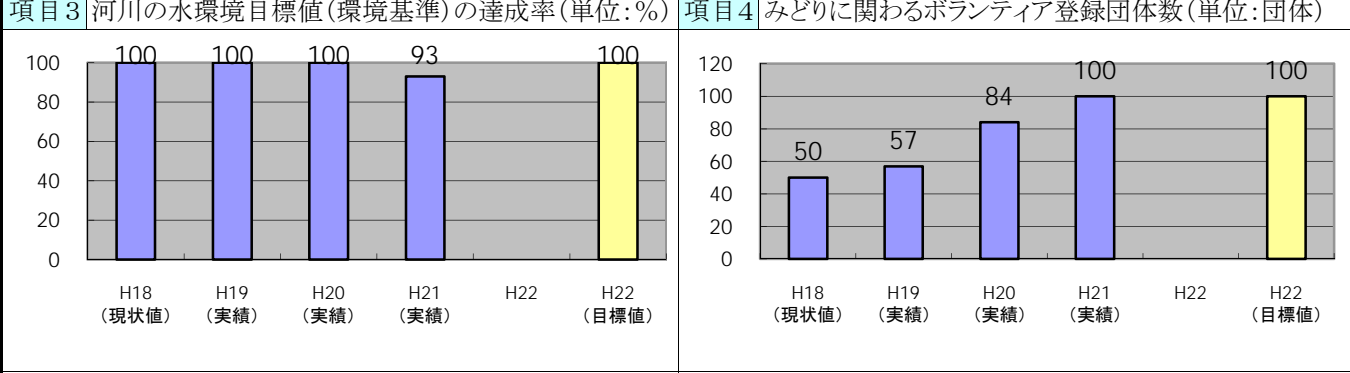
平成22年度第2次札幌新まちづくり計画施策進行調書(その6)

政策目標	4	安全・安心で、人と環境にやさしい街
重点課題	1	水とみどりの保全・育成と創出

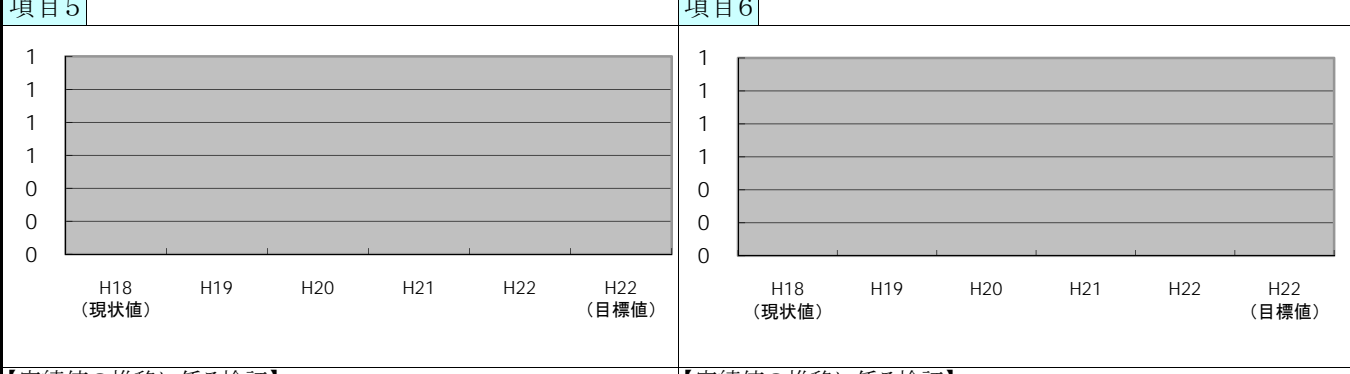
成果指標等の動向



【実績値の推移に係る検証】 今後も高い満足度維持へ向けて施策を実施していく	【実績値の推移に係る検証】 高い水準を維持しており、今後も積極的なPRを行っていく
--	--



【実績値の推移に係る検証】 水質事故(汚水流出)のため達成率減	【実績値の推移に係る検証】 H21で目標を達成
------------------------------------	----------------------------



【実績値の推移に係る検証】	【実績値の推移に係る検証】
---------------	---------------

成果指標等から見た重点課題の評価

・「身近なみどりの満足度」「地域の緑化活動への参加意識」は目標数値を上回っており、みどりの保全・育成、創出による一定の成果は見られた。今後も、協働によるみどりの保全・育成、創出を行うとともに、みどりを楽しむ心の醸成を推し進めることで、今以上の市民のみどりに対する満足度を高めたい。

・「河川の水環境目標値(環境基準)の達成率」は水環境保全施策の実施により高い水準を維持している。H21は水質事故により目標を達成できなかったが、事故対応後の河川水質は改善されている。

・「みどりに関わるボランティア登録団体数」はH21で目標を達成し、市民や企業などとの協働による公園緑地の利活用やみどりに対する保全・創出活動の取組が堅実に広がりつつある。今後もボランティア登録団体の増加に取り組んでいく。